

# ふれんどしっふ

1997年12月1日  
発行  
郡上八幡国際  
友好協会  
総務部

## 「やったよ！」 小さな国際交流

### — ホームステイ —

この度、郡上八幡国際友好協会からインド青年のホームステイのホスト家庭のお誘いを受け、少しでもお手伝いできればと思ひ、引き受けさせていただきました。実は、今回で三度目のホスト家庭となります。

経験することばかりでした。アメリカ人の場合は長期滞在でも大学で日本語講座を受講しており、かなりの日本語を話せましたので普段の生活には困ることはありませんでした。

の先生で、気品ある又民族衣装のサリーがとてもよく似合う素敵な女性でした。同町内でもう1人のホームステイした男性は、とても陽気で子供好きな好青年でした。両家族で大和町の古今伝授の里、郡上八幡城や大滝鍾乳洞へ行き、日本の歴史や文化を少しだけですが体験していただき、彼等に喜んでいただけだったので大変嬉しいことでした。

最初は白鳥町からホスト家庭の募集がありました。当時娘がオーストラリアに留学中であり、異国でホームステイでお世話していただいている恩を少しでもお返しできればと思ひ、男性アメリカ人をお世話しました。二度目もやはりアメリカ人で女性でした。今回はインドということで、人種的にも宗教的にも初めて

しかし今回の場合は、教育に関する視察及び研修が目的だということもあり、アメリカ人程、英語は堪能ではありませんが、同じ人間同士、身ぶり手振りでなんとか通じました。

一番気をつけましたのは食事です。インドという国は歴史のある国であり宗教上の習慣が生活を支配しており、特に牛は古来聖獣として尊敬されていることから、殺すことは禁じられており、当然牛肉、豚肉等は食べません。

我々日本人としては肉類も魚類も大いに好みますが、宗教上とはいえ食事に制限があるということにはつらいことでしょう。

が、良い機会を与えてくださいました。郡上八幡国際友好協会の皆様に感謝しつつ筆を置きます。同協会の今後の益々のご発展を祈ります。

## インド教師のお世話をして ～ ことばを越え心と心の3日間～

恒 合 河 町 大和

彼等が帰国しても日本の思い出として心に少しでも残していただくことを望んでおります。最後になりましたが、良い機会を与えてくださいました。郡上八幡国際友好協会の皆様に感謝しつつ筆を置きます。同協会の今後の益々のご発展を祈ります。



あつという間の三日間でした。女系家族の我が家に、又もやスウェーデン女性のヘンリエッタを迎え、一番喜んだのは主人。アルコールもなかなかいける彼女で、日頃帰りの遅い主人も、夕食には帰ってきて楽しいひとときを過ごせました。



ホスト家庭は二年前の八月、美並村の関係でモダンダンスチームの三人をお引き受けして以来二回目。今回は学生さんで日本語が話せたせいもあり、ソウルのこととか色々とお話もできて心と心の良ききずなができた。パパ、ママ、キョンヒと呼び合い、夜のフリータイムも楽しいものであった。明宝や八幡の色々な文化についてもふれることができた。土日は、韓国のチャールハン

今回初めてホームステイを受け入れてみました。最初は不安だけが盛り上がり心配しました。それは食事のメニューです。でも何でも食べて頂けたし、ゆつくりとした朝夕食で、私たちも楽しくゆつくり過ごすことができました。又、今までと違った楽しい雰囲気を感じました。初めての経験でしたが、今後は積極的に国際交流に取り組もうと思ひます。

や焼きそば等をしてもらい、楽しい三泊四日が終わった。  
◆交流しての感想  
・ 礼儀正しい  
・ よく気がつく  
・ 日本の言葉を勉強しようとする態度が旺盛  
色々お話を聞いて、日本人の学ばなければならぬことが多くあった。  
(相生 野田保夫)

- インド青年ホスト家庭**  
(九月十三日～十五日)
- 下榊形 瀬川勝正
  - 相生 野田保夫
  - 有坂 小池義孝
  - 大和町 河合 恒
  - 大和町 佐藤潤典
- 岐大留学生ホスト家庭**  
(七月十七日～二十日)
- 下榊形 瀬川勝正
  - 小野 清三津利弘
  - 那比 可児清人
  - 五町 大西淳一郎
  - 相生 野田保夫
  - 職人町 毛利諱信
  - 相生 和田正之
  - 勝更 山田忠平(2人)
  - 小野 上村文隆
  - 美並村 長谷部敏幸
  - 西乙原 小林裕子
  - 本町 岩田全市
  - 中坪 畑佐邦彦
  - 小野 池戸勇一
  - 上殿町 鷺見幸雄
- ありがとうございました。  
(敬称略)

# 国際理解講演会 “世界のまちと郡上八幡”

講師・岐阜県世界青年友の会 加藤 晃 会長

郡上八幡国際友好協会主催による国際理解講演会が、八月十日、午後二時から開催されました。場所は郡上八幡総合文化センター四階の会議室。会員はじめ町内外から約五十名の方が参加されました。

講師には、岐阜大学の前学長、名誉教授で岐阜県世界青年友の会会長の加藤晃先生をお迎えしました。テーマは「世界のまちと郡上八幡」。加藤先生は、現在、国土庁の中部圏計画部会座長、運輸省の航空審議会委員です。

今回は、国際理解、国際協力についての話題を第一としながら、加藤先生の専門であります都市計画、道路交通にも言及

していただきたいというねらいで行われた講演会です。

まずは、日本のまちづくりの話からはじまり、世界との比較で日本を考え、日本の自動車交通時代の幕開けとともに研究者生活を送られた加藤先生のお話が時間一杯まで続き、国際交流、国際協力を日本の戦後教育の中でどう位置づけるかというような話して、その後の質疑応答も活発に行われ、時間を少し延長する程でした。日程調整の上、お出でいただきました加藤先生、本当にありがとうございました。

郡上八幡国際友好協会では今後とも国際理解を深める講演会、学習会を開催いたします



加藤先生の講演のようす

すので、ご参加くださいますようお願いいたします。

## 日本の文化を見つめなおそう

— イレイン・クーパーさんが熱弁 —

イン・クーパーさんの記念講演会がおこなわれました。

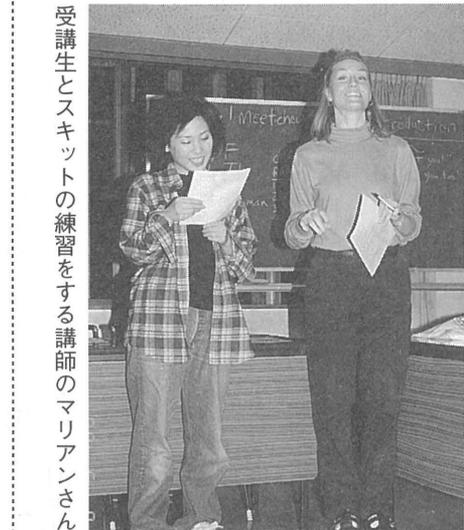
イレイン・クーパーさんは、イギリス・南ウエールズ地方の出身で、メイドストーン大学を卒業後、版画や絵画の創作を続けているうちに、手漉き和紙の魅力にとりつかれ、現在、美濃市に「紙漉き留学」をしています。時折、新聞等で作品の紹介記事が掲載されま

すように、日本をはじめヨーロッパやカナダなど世界各国で作品を発表されています。その作品は、故郷のウエールズの美術館にも所蔵され、現在、輝いて活躍中のアーティストです。

講演会では、「イギリスと日本—文化の比較あれこれ」というテーマでお話いただきました。講演の原稿は夜中の一時、二時まで考えましたという前置きどおり、鋭い指摘をいくつかいただきました。芸術活動の一環で世界をめぐる中で、紙の魅力に出会い、インド、中国にも出かけ研究したが、美濃和紙ほど丈夫で素晴らしいものはないと絶賛。「日本人は昔のものを忘れよう」とし、目先の新しいものにとりかかるとするけれど、日本当にそれだけいいの。日本

の古来からの文化は素晴らしいのに、どうして皆さんは忘れてしまったの。」などと語りかけていただきました。

ほとんどは日本語で話していただきましたが、微妙なニュアンスのところは英語で語りかけ、会場内から会員が通訳する場面があるなど和気あいあいの中で講演が行われました。講演会終了後は、イレインさんの作品鑑賞会が行われ、ご自身の言葉で解説をしていただき、集まった人から質問にも丁寧に説明していただきました。イレイン・クーパーさん、お話やら作品解説やら、仕事の合間をぬっての講演会の講師役をお引き受けいただき、本当にありがとうございました。



受講生とスキットの練習をする講師のマリアンさん

来年度も開講予定ですので、ご参加ください。

## 世界の料理を楽しむ会

— 「自家製タコスの作り方」を開催 —

十月二十五日(土)、小野の中部電力八幡営業所調理室を会場に世界の料理を楽しむ会「自家製タコスの作り方」が、協会員ら四十五名の参加のもと開催されました。

講師は英会話教室講師のベス・ストロプキーさん。タコスとは本来、メキシコ料理ですが、今回はアメリカの家庭、特にベスさんの故郷、オハイオ州キャントン市のホームパーティーで一般的に作られているタコス料理を伝授いただきました。

集まった会員らが、ベスさんの指導で手分けして料理し出来上がった具をそれぞれ自分の好みに従ってブレンドし賞味しました。

自家製タコスを味わった感想は、以外と日本人の味覚に合っていると好評でした。今度は自分の家庭で作ってみたいとの声がたくさんありました。

料理のレシピをご希望の方は直接ベスさんにお問い合わせするか事務局へお尋ねください。



## 大好評 英会話教室

当協会が主催募集し、八幡英会話サークルの協力を得て六月九日～七月七日の毎週月曜日の夜、自然休養村センターにてやさしい英会話教室が行われました。

講師は、町内でA E T

「海外旅行で役立つ英会話」

をテーマにそれぞれ具体的な場面を想定しながら五回の講座が行われました。

来年度も開講予定ですので、ご参加ください。